

地元学の手法による水の行方調べ —白地図を使い、地域の水を取り巻く情報を集める手法—



里地ネットワーク研究員/(株)森里川海生業研究所

出川 真也

地元学について

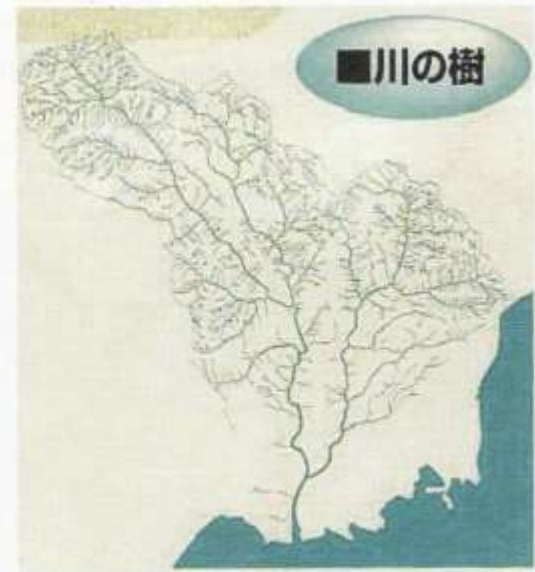
- 多様な人々の参加とまなざしにより地域環境を再発見ー地元学び、地元と共に学ぶー
- 集水域を基本単位として上流から下流まで集落周辺をくまなく探索
- 調査・研究だけでなく、活用や実践活動を重視
- 自然環境だけでなく、地域の生活文化へのまなざし

集水域の把握と「水の行方マップ」の作成

- 現地調査前の白地図作業（推奨する地図の範囲や大きさについて）
- 三角点と集水域の把握
- 河川、小川、沢、水路、ため池等の色塗り作業をみんなで



福井県越前市黒川地区の地域資源マップ作成作業



「水のある風景みなまた」水俣市「川の樹」



環境省「里地里山保全再生計画策定の手引」より

水辺の情報収集活動

—現地調査とその視点—

- 調査道具について
- 源流から下流を探索（地元住民の案内でみんなでワイワイ）
- 自然環境調査：水辺の生き物調べ、植生調査等
- 社会環境調査：自然資源の活用法、食文化、生業、言伝え、自然神など生活文化調べ



下段:環境省「里地里山保全再生計画策定の手引」より



マップ作成を通じた保全再生活動の 検討・計画づくり

- 調査結果を地図にまとめるー作成プロセスを通じた気づきと会話を大切にー
- 地域の水環境を取り巻く多様な情報から保全再生の検討と計画づくり(保全対象、場所、活動内容、目標、協力者、参加者、スケジュール、運営体制等)



水辺の情報収集から地域の生活文化 へのまなざしを

- 保全活動や子どもたちの活動とともに、里地里山の暮らしや文化への理解とかかわりを
- 活動のさらなる展開へ
地域づくり、生業づくり、そして水辺活動にかかわる子ども達の多様な可能性へ向けた基盤づくりとして